



暑さも少し和らぎ、やっと戸外で水遊びが楽しめるようになりました。日中は気温が高い日はまだ続くようなので、9月も引き続き、プール・水遊びを行いたいと思います。お部屋では、収穫した野菜でスタンプ遊びや、折り紙で髪飾りを作るなど、製作遊びをしています。つき組では子どもたちでテーマを決め、楽しい活動を計画中のようです。子どもたちの「たのしい」「やりたい」を沢山引き出していけたらと思います。

新潟市からの補助金を受け、園の食材料費に充てています

ちょうどいい暮らし

子育てには矛盾がいっぱい。「たくさんだっこした方がいい」と聞くけど、「過保護は子どもをダメにする」とも……。人はもともと自分の思い通りに生きたい、でも人ともなかよくしたいという矛盾を抱えた存在です。子どもも、自分づくりとコミュニケーションという矛盾をせめぎ合わせながら、自己を成長させていきます。

🌸 私も大切 みんなも大切 小さなときのしつけはとても大切。でもあまり極端すぎると、周りの人はどうでもいいという自己中心的な子どもになってしまいます。

どうする??

自分らしく生きる

VS

人(社会)の中で生きる

自由にのびのび

VS

人(社会)のルールを知る

子どもはどんなに小さくても社会の一員、年齢に合わせてルールを教えていきたいですね。

例えばレストランで……

小さいからわからないさ。

言ってもわからないし。



私は大切。周りは大切じゃない。



これが続くと……
肥大化した自己
社会的な不適応感
我慢がきかずされやすい
他罰性が強い

きちんとしないとみっともないでしょ。

恥ずかしいからちゃんとしなさい。



周りは大切。私は大切じゃない。



これが続くと……
神経質 自責感
内的な不自由感
外界との対立を経験できない
傷つきやすいひ弱な心

みんなが食べているから、走ってはいけないのよ。

食べ方がかっこいいねー。



私は大切。周りも大切。



これが続くと……
自分への信頼感
社会での適応感
情緒的安定
主体的・意欲的

やっぱり

ちょうどいいのが
ちょうどいい!

ひだまり通信

高山 静子 著